

使用済燃料プール対策 スケジュール

東京電力株式会社
使用済燃料プール対策
2015年10月1日現在

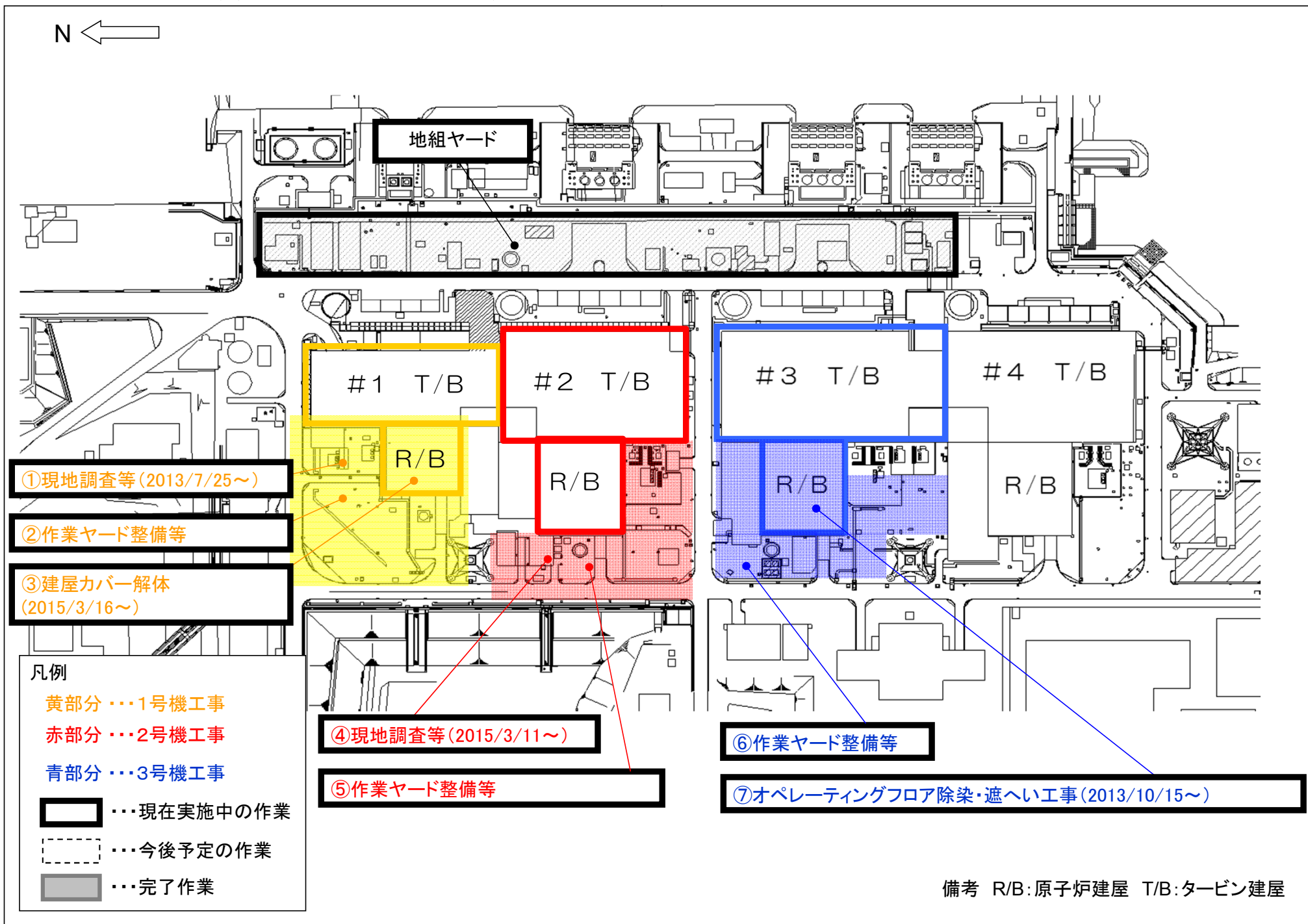
分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	8月		9月					10月			11月	12月	備考	
				23	30	6	13	20	27	4	11	18	下	上	中		下
カバ	燃料取り出し用カバ	燃料取り出し用カバの詳細設計の検討 原子炉建屋上部の瓦礫の撤去 燃料取り出し用カバの設置工事	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・原子炉建屋カバ解体 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・原子炉建屋カバ解体	検討・設計 基本設計 ガレキ状況調査結果等の分析・評価、ガレキ撤去計画の継続検討 ①現地調査等(13/7/25~)												【主要工程】 ・原子炉建屋カバ解体再開：'15/3/16 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →フル燃料取り出しに特化したプランを選択 ・屋根貫通飛散防止剤散布：'15/7/17~21完了 ・屋根パネル外し開始：'15/7/28 実績：1枚目-7/28、2枚目-8/3、3枚目-9/8、4枚目-9/12、5枚目-9/29 予定：6枚目-10/前半 ※○番号は、別紙配置図と対応	
			(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・ヤード整備等 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・ヤード整備等	検討・設計 基本検討 ④現地調査等 現場作業 ⑤作業ヤード整備等 準備工事 区画仮設壁設置※ 周辺建屋解体等													【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2017年度まで継続検討 ・周辺ヤード整備工事の着手：'15/3/11~ ※○番号は、別紙配置図と対応 ※解体建屋と隣接する建屋に生じる開口部を安全区画として仮壁を設置
			(実績) ・作業ヤード整備 ・オペレーティングフロア除染・遮へい工事 (予定) ・作業ヤード整備 ・オペレーティングフロア除染・遮へい工事	検討・設計 (3号燃料取り出し用カバ) 詳細設計、関係箇所調整 (3号瓦礫撤去) 現場作業 ⑥作業ヤード整備等 ⑦オペレーティングフロア除染・遮へい工事('13/10/15~)													【主要工事工程】 ○除染・遮へい： ・オペレーティングフロア大型がれき撤去完了：'13/10/11 ・オペレーティングフロア除染・遮へい準備工事：'13/7/9~'13/12/24 ・オペレーティングフロア除染・遮へい工事：'13/10/15~ ○現在、除染・遮へい工事の追加対策を検討中であり、追加対策の内容を踏まえ燃料取り出し用カバ構築時期を再判断 ※○番号は、別紙配置図と対応
燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機の設計・製作 プール内瓦礫の撤去、燃料調査等	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計 基本検討													【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →フル燃料取り出しに特化したプランを選択 ・飛散抑制対策(散水設備等)、ガレキ撤去計画継続検討	
		(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計 基本検討														【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2017年度まで継続検討
		(実績) ・クレーン/燃料取扱機の設計検討 ・SFP内大型がれき撤去作業 (予定) ・クレーン/燃料取扱機の設計検討 ・SFP内大型がれき撤去作業	検討・設計 クレーン/燃料取扱機の設計検討 (SFP内大型がれき撤去作業) FHM等撤去 現場作業 FHM解体 CUV F/D ハッチ蓋撤去 SFP内調査 鋼材用カッターからの油漏えい対策に伴う変更 その他瓦礫撤去等 SFP内調査												【規制庁関連】 ・クレーン・燃料取扱機ほか 実施計画変更認可申請(2014/6/25) 実施計画変更認可申請の一部補正(2015/4/28) ・鋼材用カッターからの油漏えいのため、9/4から9/20までCUWハッチ撤去中断。		

使用済燃料プール対策 スケジュール

東京電力株式会社
使用済燃料プール対策
2015年10月1日現在

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	8月		9月					10月			11月	12月	備考		
				23	30	6	13	20	27	4	11	18	下	上	中		下	
使用済燃料プール対策	構内用輸送容器	構内用輸送容器の設計・製作	300機 (実 績) ・構内用輸送容器の設計検討 (予 定) ・構内用輸送容器の設計検討	検討・設計	構内用輸送容器の設計検討													【規制庁関連】 ・構内用輸送容器 実施計画変更認可申請 (2014/6/25) 実施計画変更認可申請の一部補正 (2015/4/28)
	キャスク製造	輸送貯蔵兼用キャスク・乾式貯蔵キャスクの製造	(実 績) ・乾式キャスク製造中 (予 定) ・乾式キャスク製造中	調達・移送	29基目 (2016年11月頃完成予定) 30基目 (2016年12月頃完成予定) 31基目 (2017年1月頃完成予定) 32基目 (2017年3月頃完成予定) 33基目 (2017年4月頃完成予定) 34基目 (2017年5月頃完成予定)													・28基目までは使用済燃料乾式キャスク仮保管設備に設置済み
	共用プール	共用プール燃料取り出し既設乾式貯蔵キャスク点検	(実 績) (予 定)	検討・設計 現場作業														
	仮保管設備	乾式キャスク仮保管設備の設置	(実 績) (予 定)	検討・設計 現場作業														
	研究開発	使用済燃料プールから取り出した燃料集合体の長期健全性評価	(実 績) ・長期健全性評価に係る基礎試験 ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発 (予 定) ・長期健全性評価に係る基礎試験 ・燃料集合体の長期健全性評価技術開発	検討・設計	【燃料集合体の長期健全性評価技術開発】 (湿式保管評価) 燃料部材輸送計画作成 輸送手続き 試験計画作成 試験準備 (乾式保管評価) 未照射材/照射材試験片加工 試験条件検討のための事前確認試験 乾式保管時の燃料健全性確認試験 【長期健全性評価に係る基礎試験】 試験片作成/放射性同位元素受入 試験準備 移行挙動試験 評価													

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



3号機使用済燃料プール内大型ガレキ撤去 作業の進捗状況について

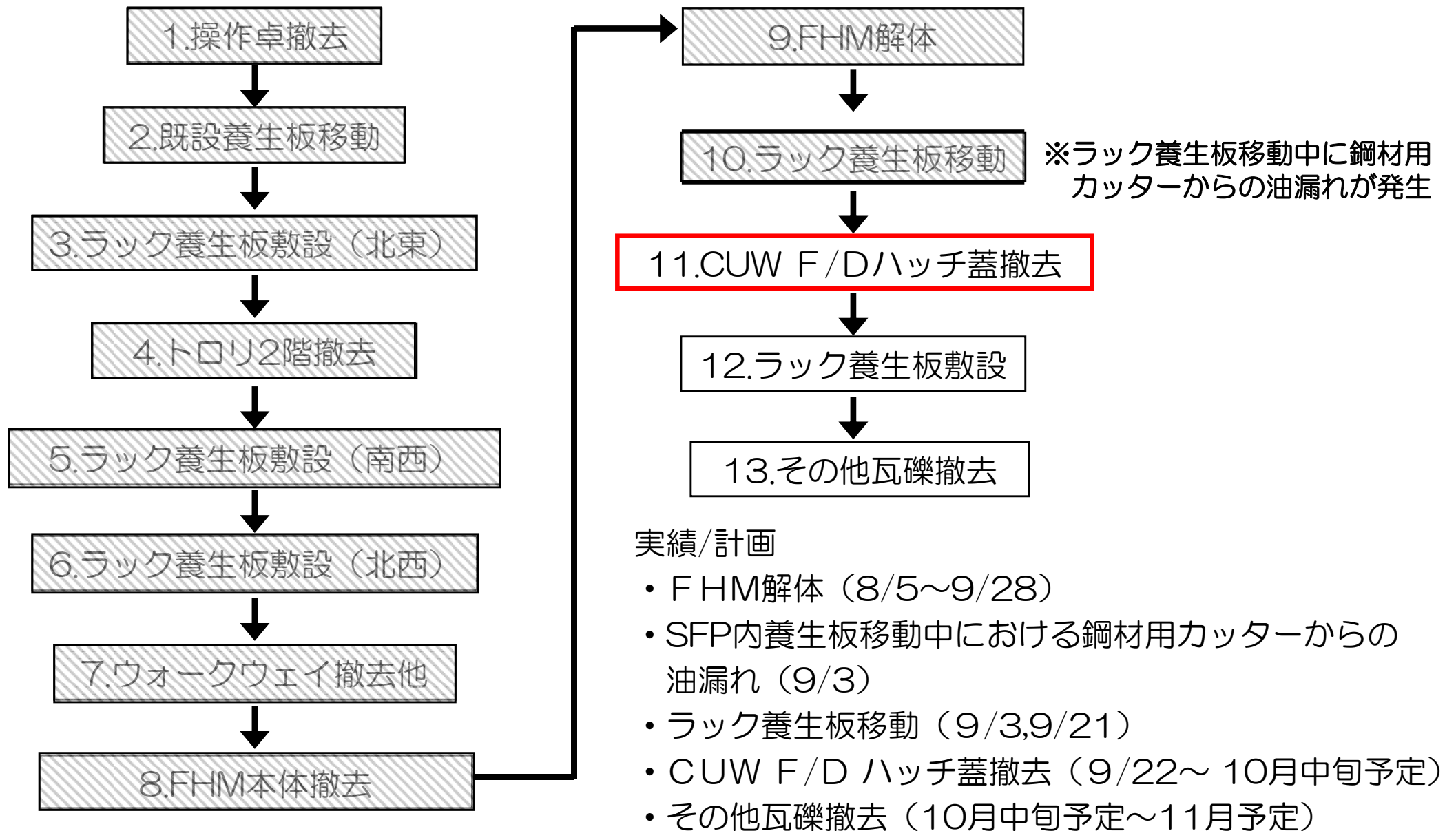
2015年10月1日

東京電力株式会社

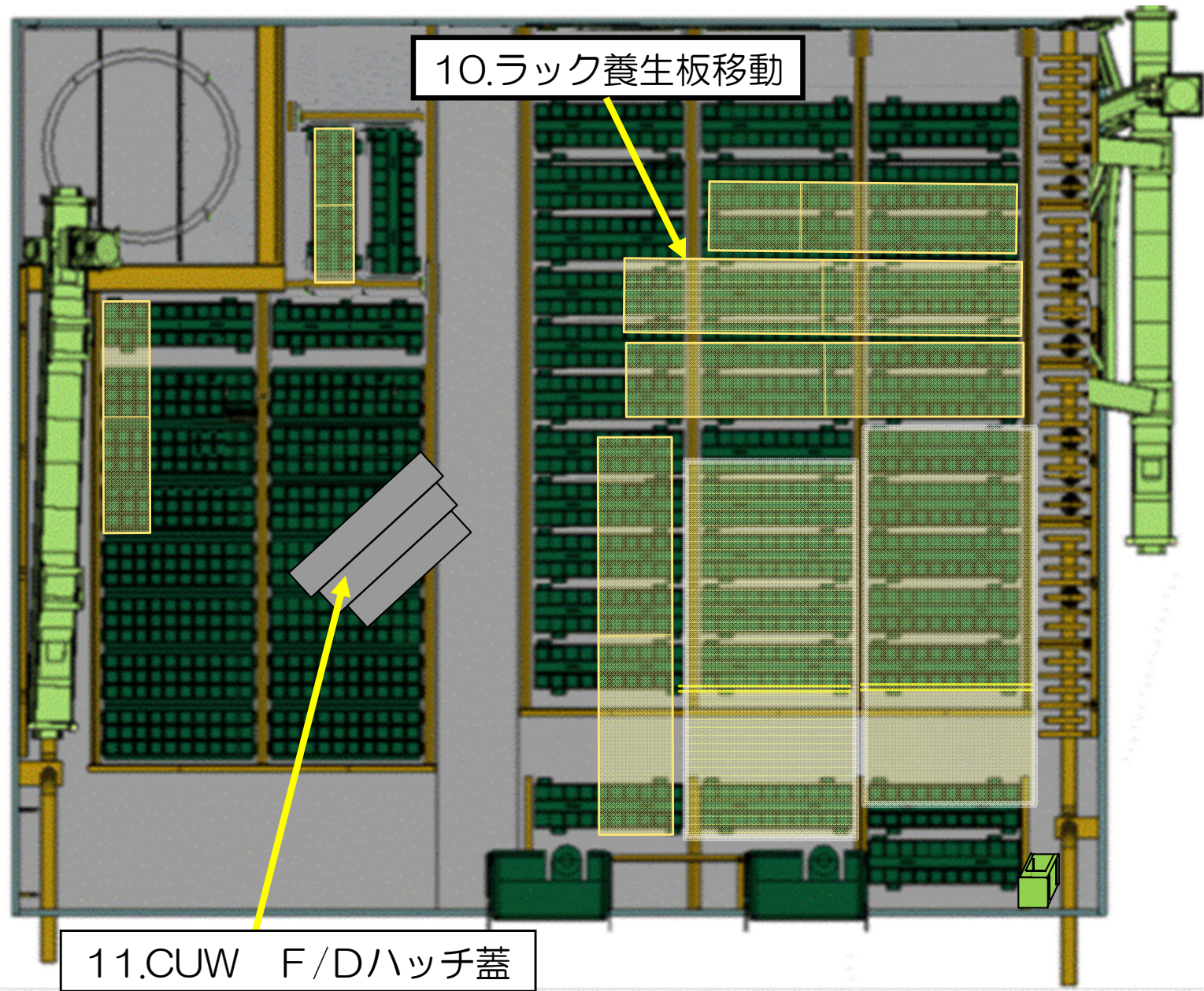


東京電力

ラック養生板設置および瓦礫撤去手順案（概略）



瓦礫および養生板配置状態（現状 2015.9.21時点）



工程案

	平成26年 (2014)		平成27年 (2015)									※	
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
追加養生板	設計・製作			3.敷設	5.敷設・移動	7.敷設					10.移動		12.敷設
既設養生板		2.移動											
瓦礫撤去作業	1.操作卓・張出しフレーム撤去			4.トオリ2階撤去	6.ウォークウェイ撤去、他	機材移動	6.ウォークウェイ撤去、他	8.FHM本体撤去		9.FHM解体	11.OUW F/D ハッチ蓋撤去	13.その他瓦礫撤去	
クローラクレーン1号機 年次点検													
クローラクレーン2号機 年次点検													

点検時期を前倒しし、点検に合わせてカメラ取替を実施

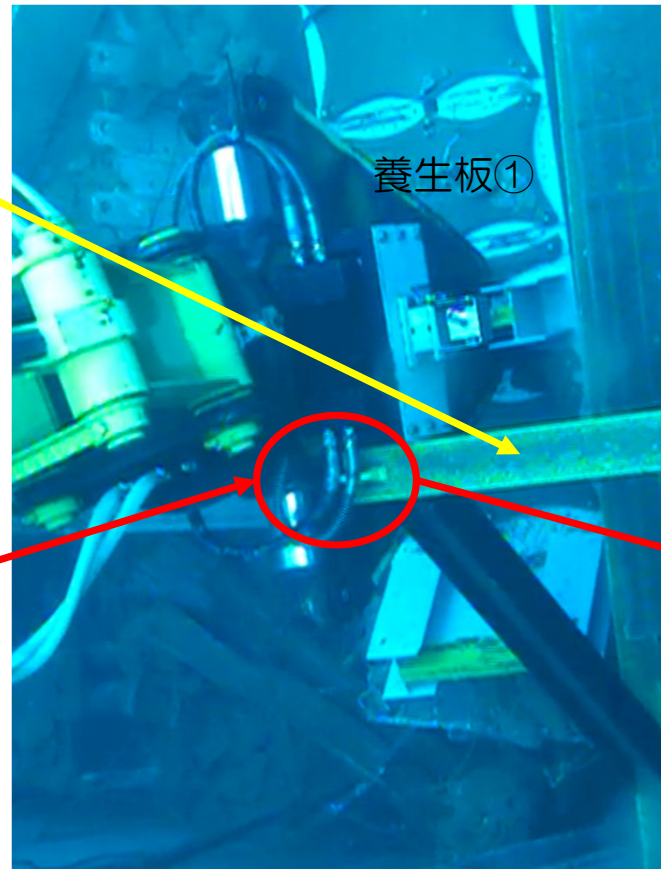
※遅延理由：鋼材用カッター油漏れ事象及び再発防止対策の実施（約3週間）

鋼材用カッターからの油漏れ事象（9/3発生）

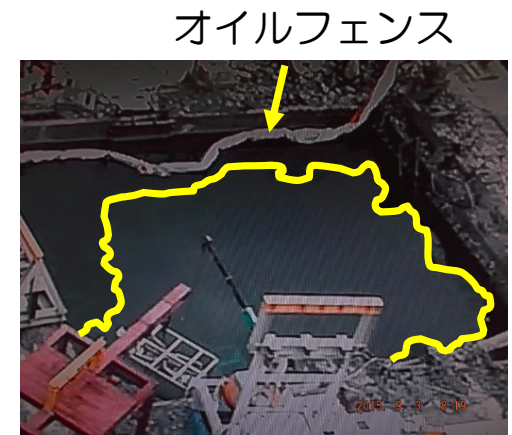
3号機SFP内において、CUW F/D ハッチ蓋撤去の準備の一環として、鋼材用カッターを用いてSFP内に設置している燃料ラック養生板の移動を実施していたところ、鋼材用カッター油圧ホース継手部が燃料ラック養生板の取手に接触し、継手部が緩んだことにより作動油の漏えいが発生した。



SFP内ガレキ・養生板配置図



鋼材カッター油圧ホース接触部



油漏れ時のSFP状況
(黄色の枠内が油の漏れ範囲)



原因&対策 その1

燃料ラック養生板北東部より南側設置場所へ移動後、養生板を着座させた際に吊ワイヤーの緩みがある状態で鋼材用カッターの離し操作を行ったため、鋼材用カッターが若干下がり、鋼材用カッター油圧ホース継手部が既に設置されていた養生板取手に接触した。

原因

吊上げ時には荷重管理、記録を徹底していたが、吊下げ時においては、養生板が安定に設置できることを主眼に操作していた。
その為、鋼材用カッターが下がって燃料ラック養生板取手に接触した。



対策

吊上げ時同様、吊下げ時においても荷重管理・記録を行うことにより、
不必要に把持治具（鋼材用カッター等）が下がらないようにする。
養生板の安定状態確認及び養生板のみの荷重が抜けた段階で離し操作

原因 & 対策 その2

燃料ラック養生板①を移動・設置する際、燃料ラック養生板②取手高さが違っており、鋼材用カッター継手部が接触する位置関係にあった。養生板を移動する計画段階で周辺養生板との取手高さの違いによる検討が不十分であった。

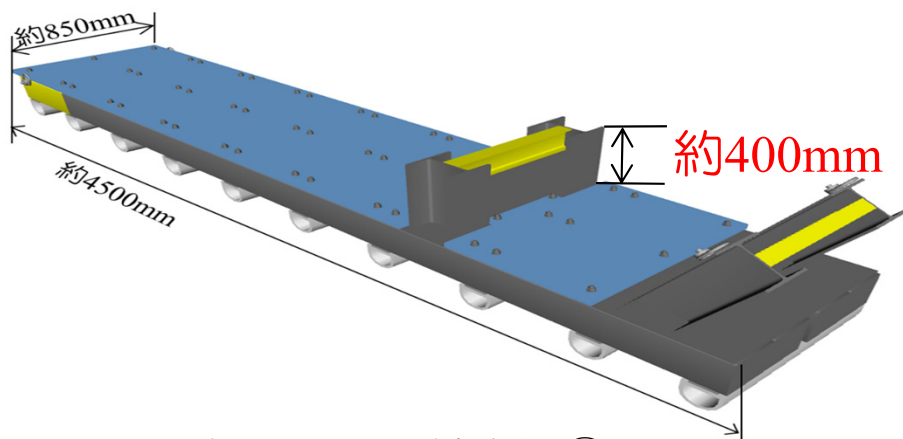
原因

吊下操作におけるリスク管理が不十分

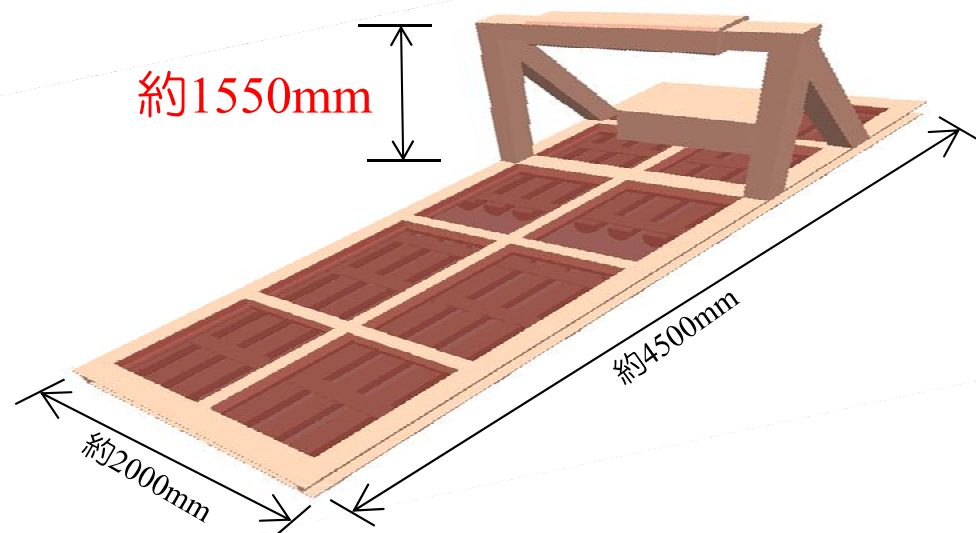


対策

計画段階において、養生板を移動・設置する際は、位置関係、配置、取扱方法の検討を行う。



燃料ラック養生板①



燃料ラック養生板②

対策 その3

これまで、瓦礫把持治具の使用前に毎回、外観確認、作業前動作を行い、把持治具の健全性、油漏えいの確認を行ってきた。また、今回の当該継手部の健全性を確認しているが、さらに以下の追加対策を行う。

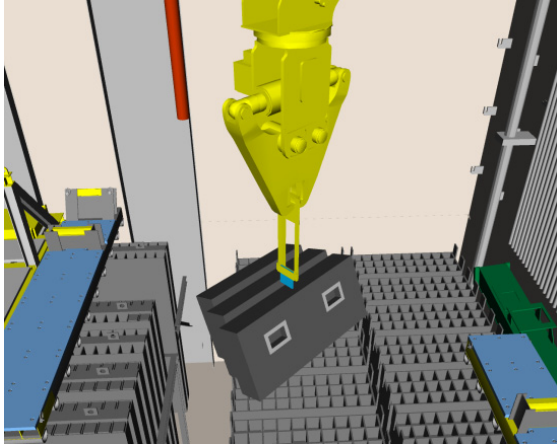


追加対策

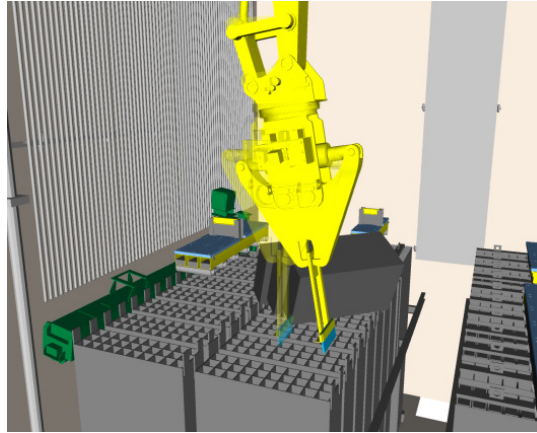
- 鋼材用カッター継手部にカバー
- 水平展開として、干渉する可能性のある類似継手部分がある瓦礫取扱具にカバー設置
- 継手部を新品に交換
- 継手部にケガキ・合マークを入れ、使用前毎に締結確認

CUW F/Dハッチ蓋撤去手順 (1/2)

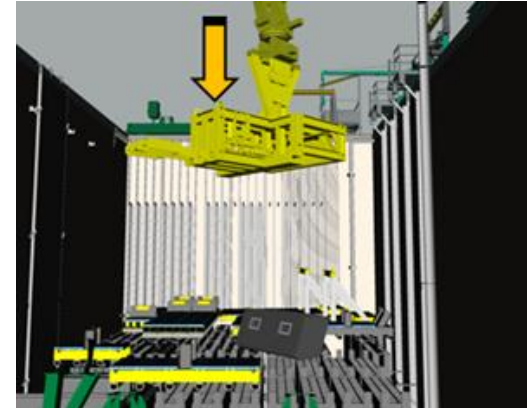
1) コンクリート瓦礫撤去治具にて
CUW F/D ハッチ蓋上部のコンク
リート瓦礫を掃く



2) コンクリート瓦礫撤去治具にて
CUW F/D ハッチ蓋周辺のコンク
リート瓦礫を撤去

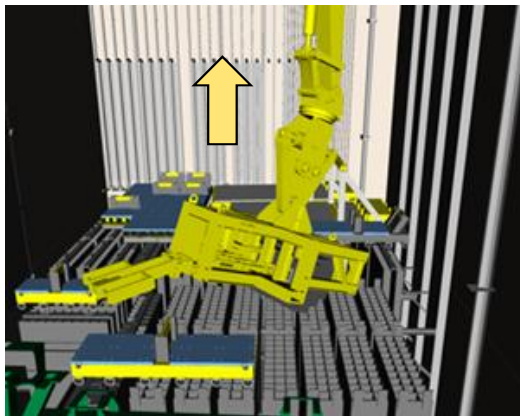


3) 持ち手Aを鋼材用カッター機にて把持し、
CUW F/D ハッチ蓋撤去治具を吊下げ*



着座燃料ラックへの衝撃防止のため、
低速にて吊下げる。

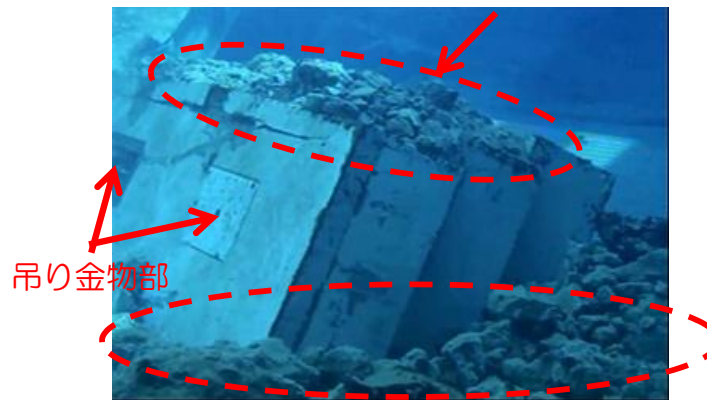
4) CUW F/D ハッチ蓋を撤去装置
にはめ込み、油圧シリンダロッ
ドで押し付け固定し、吊上げ



把持要求事項：油圧シリンダロッド4本がCU
W F/Dハッチ蓋吊り金物部（2本）本体部（
2本）に押し付けられていること。

(参考写真)

CUW F/Dハッチ蓋上部コンクリート瓦礫



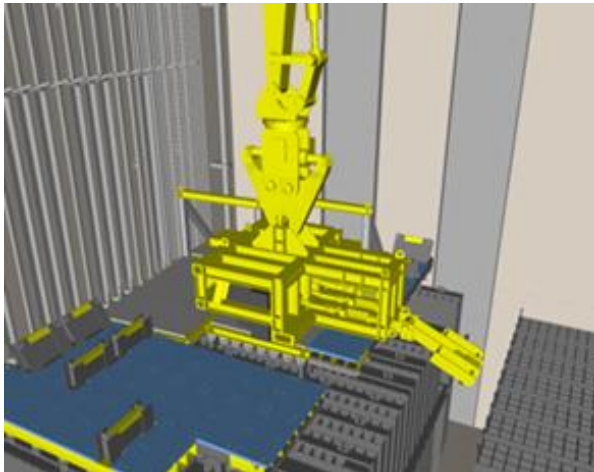
吊り金物部

CUW F/D ハッチ蓋周辺コンクリート瓦礫

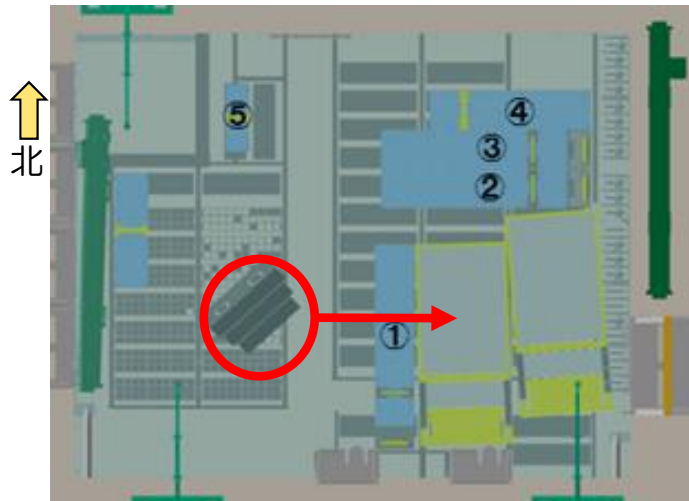
*実際は、吊上げワイヤを撤去治具に接続した
まま吊下げる。(次頁参照)

CUW F/Dハッチ蓋撤去手順 (2/2)

5) CUW F/D ハッチ蓋を水平移動し、燃料ラック養生材上(燃料未装荷エリア)に仮置き

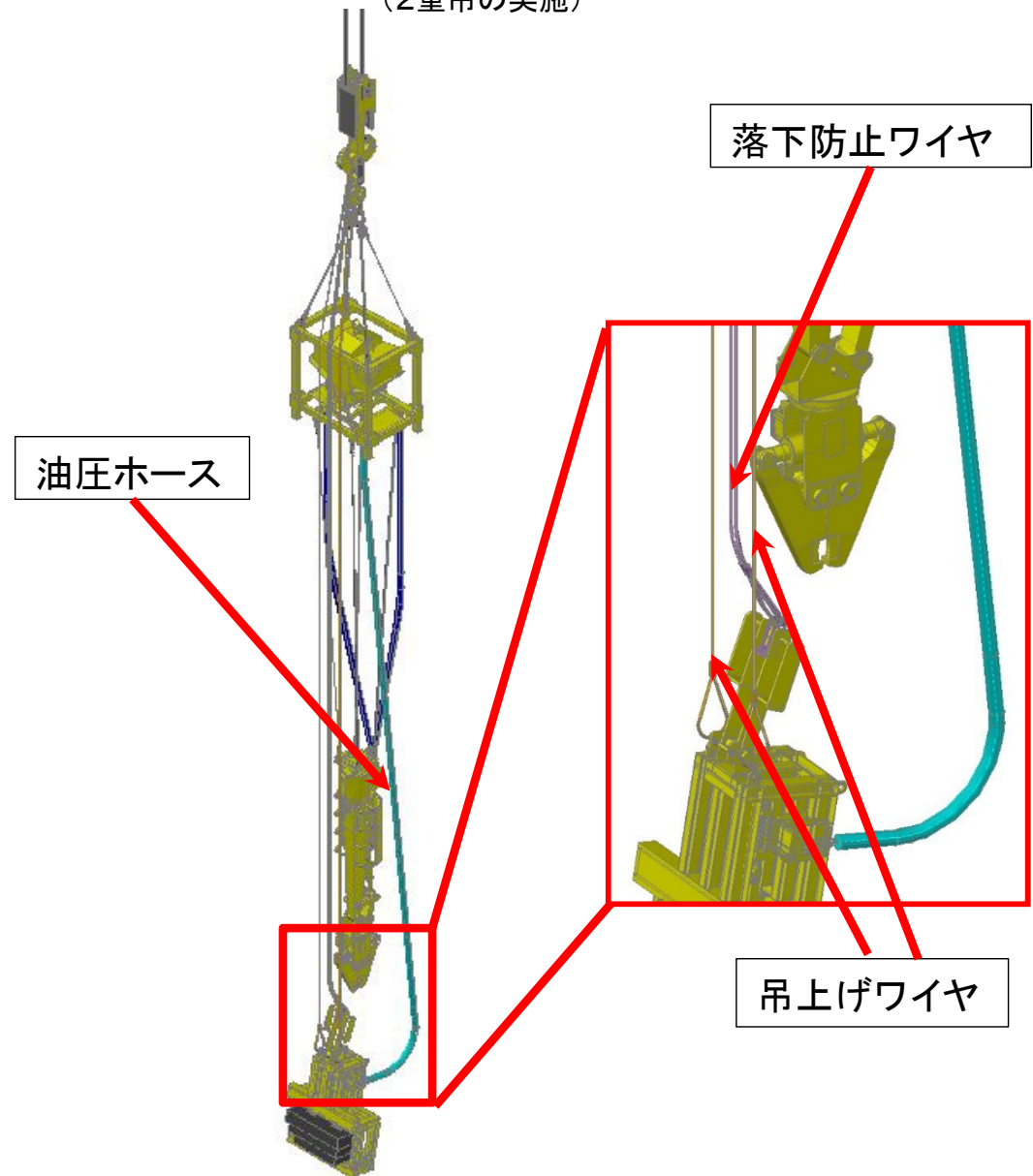


※水平移動前に燃料の共吊の無いことを確認。



CUW F/Dハッチ蓋を撤去装置を用いて水平移動する。

6) 予め取付けている吊上げワイヤを用いて、CUW F/D ハッチ蓋を立起こし、吊上げてSFP外へ撤去(2重吊の実施)

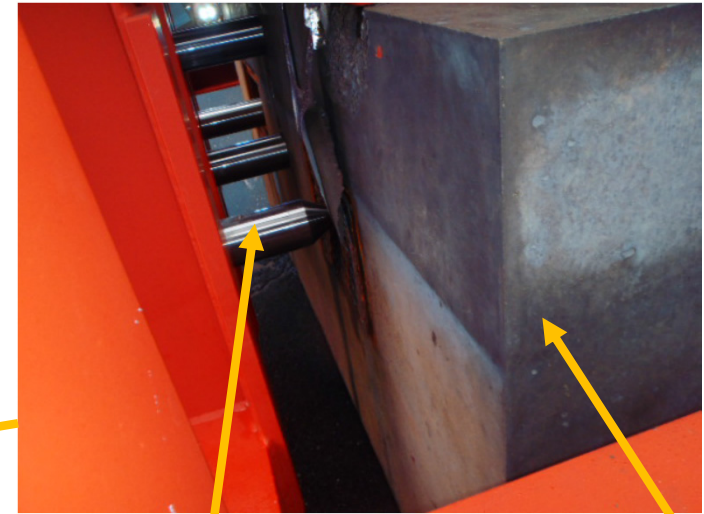


(参考) CUW F/Dハッチ蓋撤去装置のモックアップ試験

■ 模擬CUW F/D ハッチ蓋（実寸・実重量）を使用したモックアップを実施し、吊り上げに問題がないことを確認した。

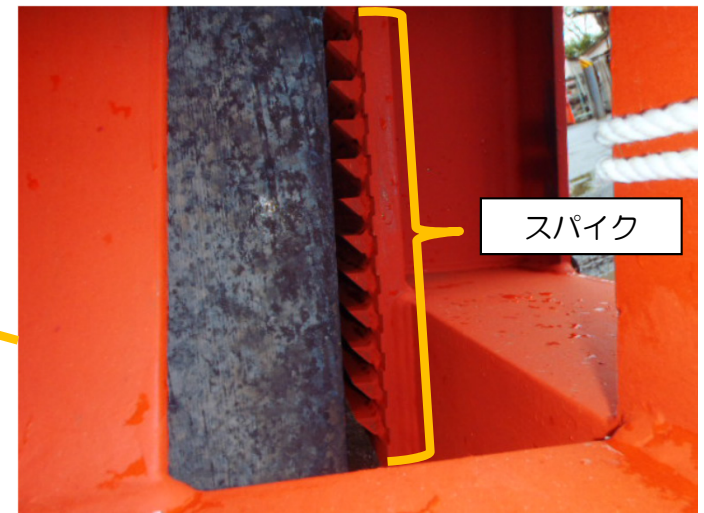


(参考) CUW F/D ハッチ蓋立て起こし時



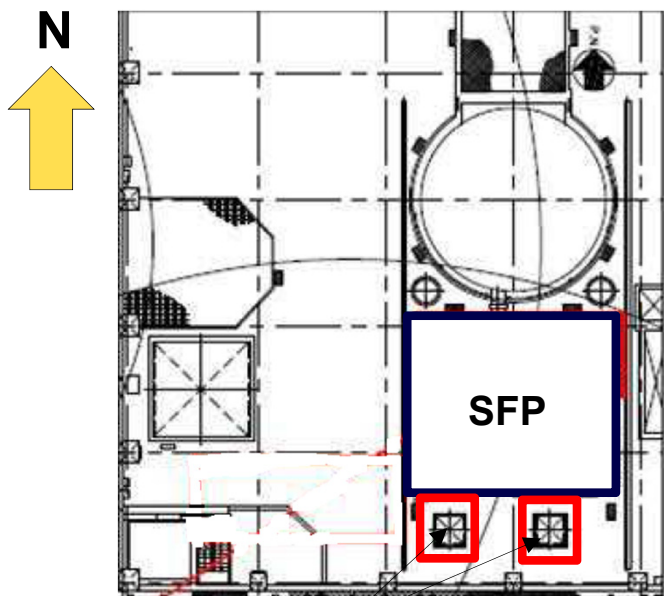
油圧シリンダーロッド

模擬CUW F/D ハッチ蓋

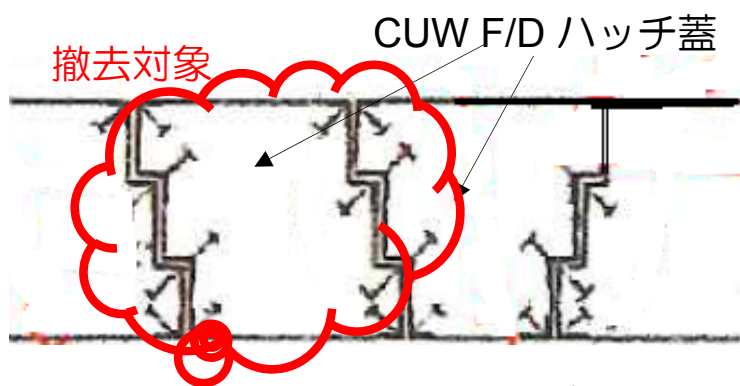


スパイク

(参考) CUW F/D ハッチ蓋について



CUW F/D ハッチ



CUW F/D ハッチ断面図

CUW F/D ハッチ
蓋上面



CUW F/D ハッチ蓋SFP内状況写真

状況写真
撮影方向

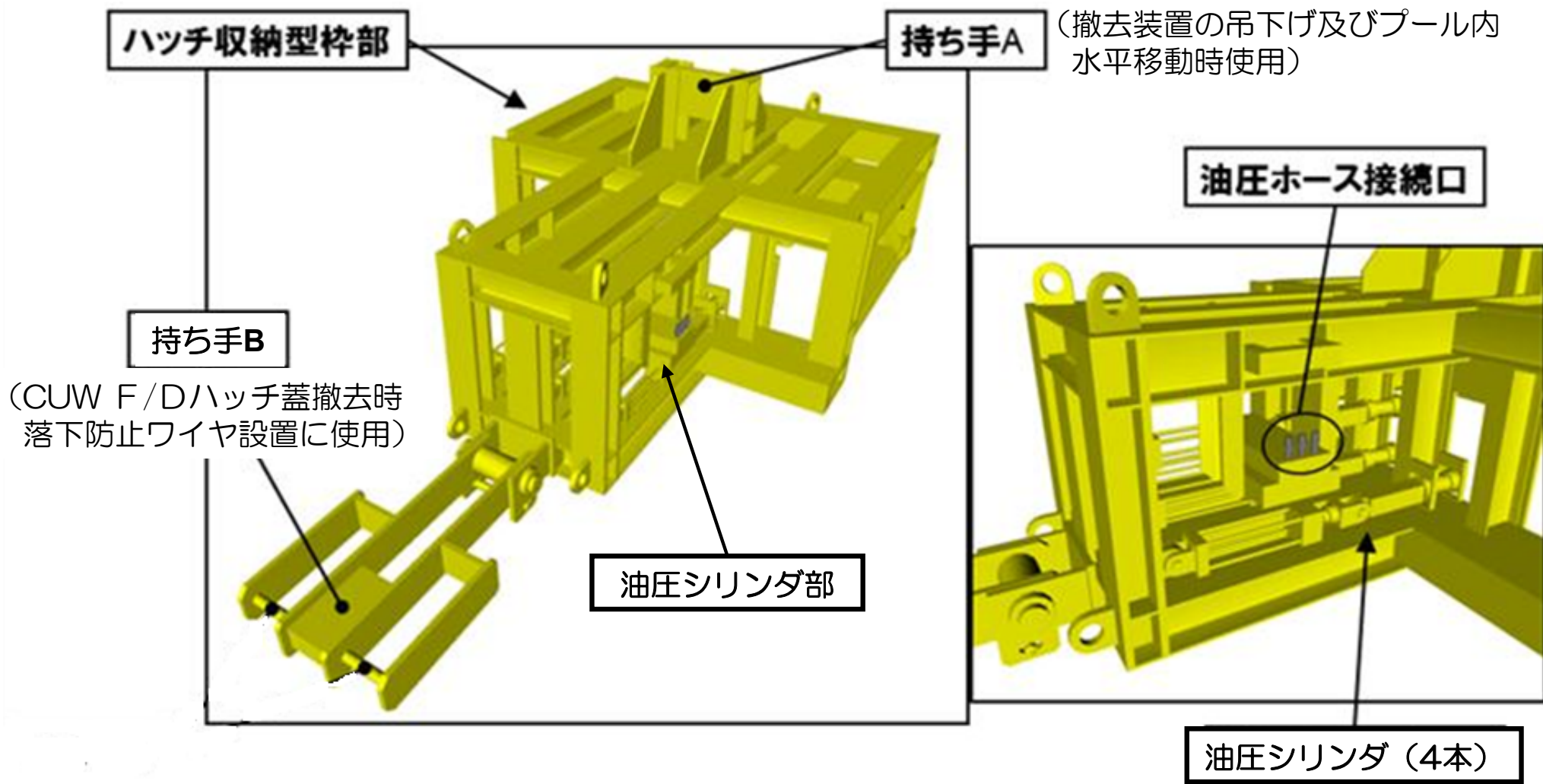
CUW F/D ハッチ蓋上面



模擬CUW F/D ハッチ蓋 (モックアップ用)

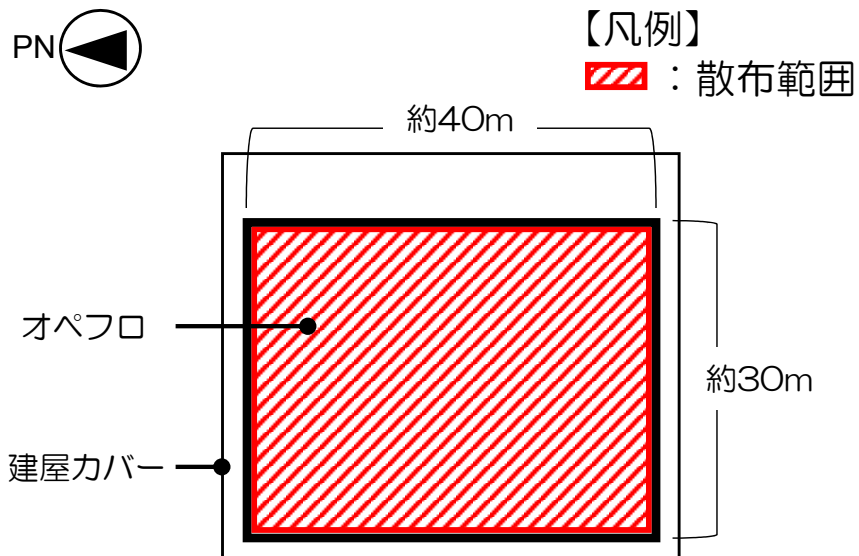
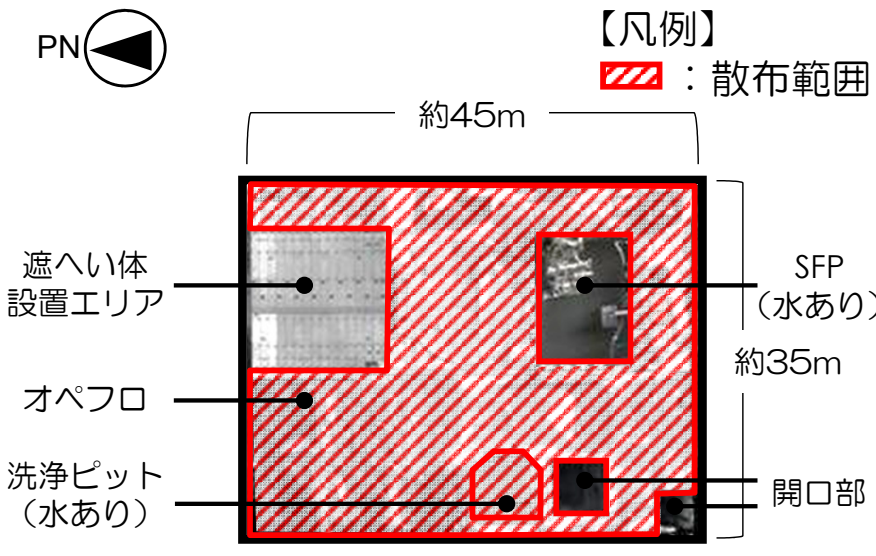
〔 大きさ 約1m×約1m×約2m
重量 水中重量約2.6t 〕

(参考) CUW F/Dハッチ蓋撤去装置



1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

1.定期散布

	1号機	3号機
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。	
頻度	1回/月	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布範囲	 <p>【凡例】 ▨：散布範囲</p> <p>約40m</p> <p>約30m</p> <p>オペフロ</p> <p>建屋カバー</p>	 <p>【凡例】 ▨：散布範囲</p> <p>約45m</p> <p>約35m</p> <p>遮へい体設置エリア</p> <p>オペフロ</p> <p>洗浄ピット (水あり)</p> <p>SFP (水あり)</p> <p>開口部</p>
散布面積	1,234m ²	1,060m ²



1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定


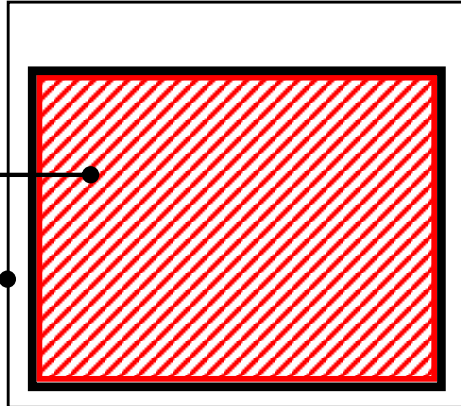

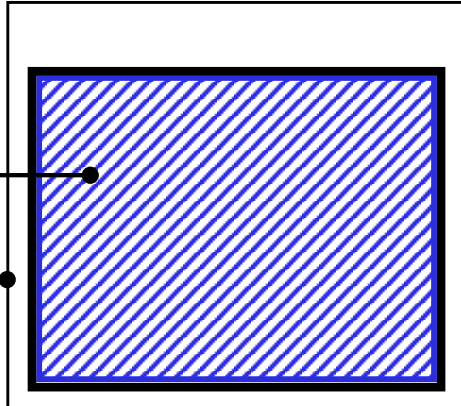

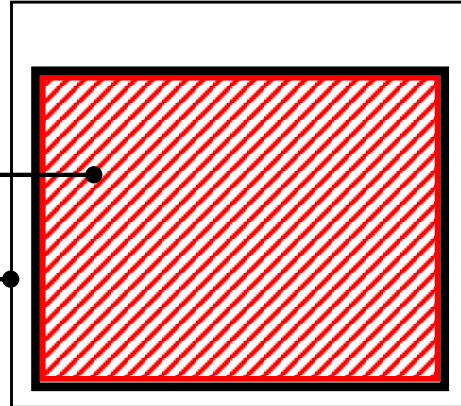

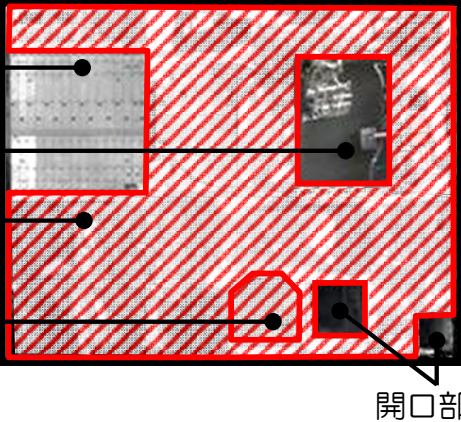

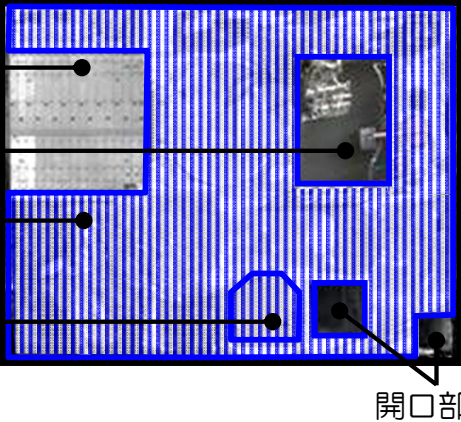

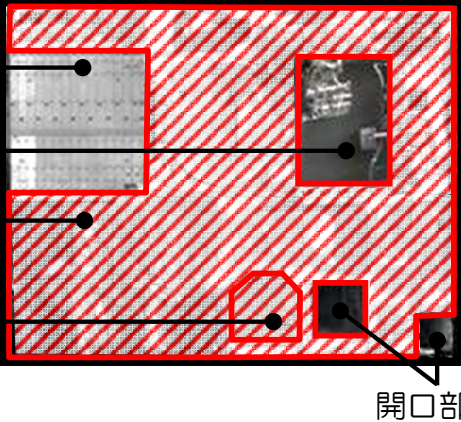
2.作業時散布

	1号機	3号機
目的	オペフロ上での（建屋カバー解体や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする	
標準散布量	1.5L/m ² 以上	
濃度	1/10	
散布対象作業	<ul style="list-style-type: none"> • 屋根パネル外し • 支障鉄骨撤去 • 壁パネル外し 等	<ul style="list-style-type: none"> • 除染 等

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

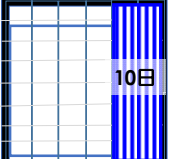
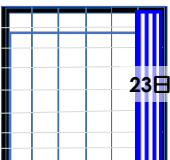
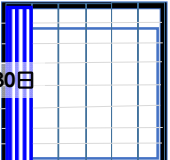
3.定期散布の実績及び予定

【凡例】
 : 計画散布範囲
 : 実績散布範囲

	計画 (9月)	実績 (9月)	計画 (10月)
1号機	散布日：9月16日~9月22日  	散布日：9月16日~9月22日  	散布日：10月15日~10月16日  
3号機	散布日：9月1日  	散布日：9月1日  	散布日：10月1日  

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

4.作業時散布の実績及び予定（1号機）

		当該週の散布範囲							
8月	日	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.05E-4 (最大) 5.35E-8 (最小)	2.08E-4 (最大) 1.19E-7 (最小)	1.99E-4 (最大) 7.36E-8 (最小)	2.32E-4 (最大) 1.07E-7 (最小)	2.15E-4 (最大) 6.80E-8 (最小)	2.44E-4 (最大) 7.36E-8 (最小)	1.99E-4 (最大) 1.26E-7 (最小)	
9月	日	30 (日)	31 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.63E-4 (最大) 7.42E-9 (最小)	1.66E-4 (最大) 1.48E-7 (最小)	2.18E-4 (最大) 2.48E-8 (最小)	2.37E-4 (最大) 9.92E-9 (最小)	2.06E-4 (最大) 1.65E-8 (最小)	2.34E-4 (最大) 2.48E-8 (最小)	2.06E-4 (最大) 3.88E-7 (最小)	
9月	日	6 (日)	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)	 北1 北2 北3 南3 南2 南1
	散布対象作業	-	-	-	-	屋根パネル外し カバー オペフロ	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	252 120	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	3.6 3.3	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.96E-4 (最大) 1.48E-7 (最小)	2.29E-4 (最大) 6.25E-8 (最小)	1.65E-4 (最大) 1.62E-8 (最小)	2.79E-4 (最大) 8.48E-8 (最小)	2.41E-4 (最大) 8.33E-9 (最小)	2.11E-4 (最大) 7.93E-8 (最小)	2.48E-4 (最大) 5.81E-8 (最小)	
9月	日	13 (日)	14 (月)	15 (火)	16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.44E-4 (最大) 2.89E-7 (最小)	2.44E-4 (最大) 2.94E-8 (最小)	3.03E-4 (最大) 1.04E-7 (最小)	2.79E-4 (最大) 1.94E-8 (最小)	2.20E-4 (最大) 4.75E-8 (最小)	2.20E-4 (最大) 1.07E-7 (最小)	2.68E-4 (最大) 1.07E-7 (最小)	
9月	日	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	 北1 北2 北3 南3 南2 南1
	散布対象作業	-	-	-	屋根パネル外し オペフロ	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	120	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	3.6	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	2.32E-4 (最大) 1.02E-7 (最小)	3.12E-4 (最大) 1.99E-7 (最小)	2.44E-4 (最大) 3.48E-8 (最小)	2.87E-4 (最大) 2.60E-7 (最小)	3.10E-4 (最大) 6.49E-8 (最小)	2.86E-4 (最大) 9.52E-8 (最小)	2.22E-4 (最大) 4.85E-8 (最小)	
9月	日	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	1 (木)	2 (金)	3 (土)	 北1 北2 北3 南3 南2 南1
	散布対象作業	-	-	-	屋根パネル外し カバー	屋根パネル外し カバー	屋根パネル外し カバー	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	252	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	3.5	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	3.39E-4 (最大) 2.59E-7 (最小)	2.68E-4 (最大) 2.14E-7 (最小)	1.96E-4 (最大) 1.07E-7 (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

1、3号機飛散防止剤散布実績及び予定

4.作業時散布の実績及び予定（3号機）

		当該週の散布範囲							
8月	日	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	<p>25日 28日 29日</p>
	散布対象作業	—	—	除染作業	—	—	除染作業	除染作業	
	散布面積合計 (m ²)	—	—	90	—	—	90	90	
	平均散布量 (L/m ² ・回) ※1	—	—	前:2.8 後:2.8	—	—	前:2.8 後:2.8	前:2.8 後:2.8	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm ³) ※2	3.22E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.84E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.81E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.30E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.98E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.05E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.18E-5 (最大) ND※3 (最小)	
9月	日	30 (日)	31 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	<p>1日 1~5日</p> <p>31日</p>
	散布対象作業	—	除染作業	—	—	除染作業	除染作業	除染作業	
	散布面積合計 (m ²)	—	100	—	—	90	70	70	
	平均散布量 (L/m ² ・回) ※1	—	前:2.5 後:2.5	—	—	前:2.8 後:2.8	前:3.6 後:3.6	前:3.6 後:3.6	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm ³) ※2	6.81E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.36E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.40E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.22E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.54E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.40E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.98E-5 (最大) ND※3 (最小)	
	日	6 (日)	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)	<p>7日 8日</p>
	散布対象作業	—	除染作業	除染作業	—	—	除染作業	—	
	散布面積合計 (m ²)	—	70	70	—	—	70	—	
	平均散布量 (L/m ² ・回) ※1	—	前:3.6 後:3.6	前:3.6 後:3.6	—	—	前:3.6 後:3.6	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm ³) ※2	4.61E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.35E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.04E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.35E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.70E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.52E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.85E-5 (最大) ND※3 (最小)	
	日	13 (日)	14 (月)	15 (火)	16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)	<p>17日 19日</p> <p>16日</p>
	散布対象作業	—	—	—	除染作業	除染作業	—	除染作業	
	散布面積合計 (m ²)	—	—	—	90	80	—	80	
	平均散布量 (L/m ² ・回) ※1	—	—	—	前:2.8 後:2.8	前:3.1 後:3.1	—	前:3.1 後:3.1	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm ³) ※2	4.74E-5 (最大) ND※3 (最小)	2.69E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.94E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.21E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.04E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.24E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.76E-5 (最大) ND※3 (最小)	
	日	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	<p>22~ 25日</p> <p>21日</p>
	散布対象作業	—	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	除染作業	—	
	散布面積合計 (m ²)	—	80	70	70	70	70	—	
	平均散布量 (L/m ² ・回) ※1	—	前:3.1 後:3.1	前:3.6 後:3.6	前:3.6 後:3.6	前:3.6 後:3.6	前:3.6 後:3.6	—	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm ³) ※2	4.60E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.80E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.27E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.98E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.77E-5 (最大) ND※3 (最小)	3.62E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.16E-5 (最大) ND※3 (最小)	
日	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	1 (木)	2 (金)	3 (土)		
散布対象作業	—	—	—	—	—	除染作業	除染作業		
散布面積合計 (m ²)	—	—	—	—	—	—	—		
平均散布量 (L/m ² ・回) ※1	—	—	—	—	—	—	—		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm ³) ※2	5.54E-5 (最大) ND※3 (最小)	4.80E-5 (最大) ND※3 (最小)	5.49E-5 (最大) ND※3 (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)	— (最大) — (最小)		

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

※3 ND=検出限界値(4.8E-6)未満を示す

平成27年9月30日時点

【1号機原子炉建屋カバー解体工事】

■ 8月27日（木）～9月30日（水）主な作業実績

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 屋根パネル取外し（北2、南1、南2屋根パネル）
- ・ 風速計設置
- ・ オペフロ調査
- ・ 線量測定
- ・ ダストサンプリング
- ・ ダストモニタサンプリングポイント切替
- ・ 建屋カバー附属設備撤去

□ 今月

□ 作業進捗



■ 10月1日（木）～10月28日（水）主な作業予定

- ・ 資機材整備
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 屋根パネル取外し（北1屋根パネル）
- ・ 風速計整備
- ・ オペフロ調査
- ・ 線量測定
- ・ ダストサンプリング
- ・ 俯瞰カメラ設置

■ 備考

- ・ なし

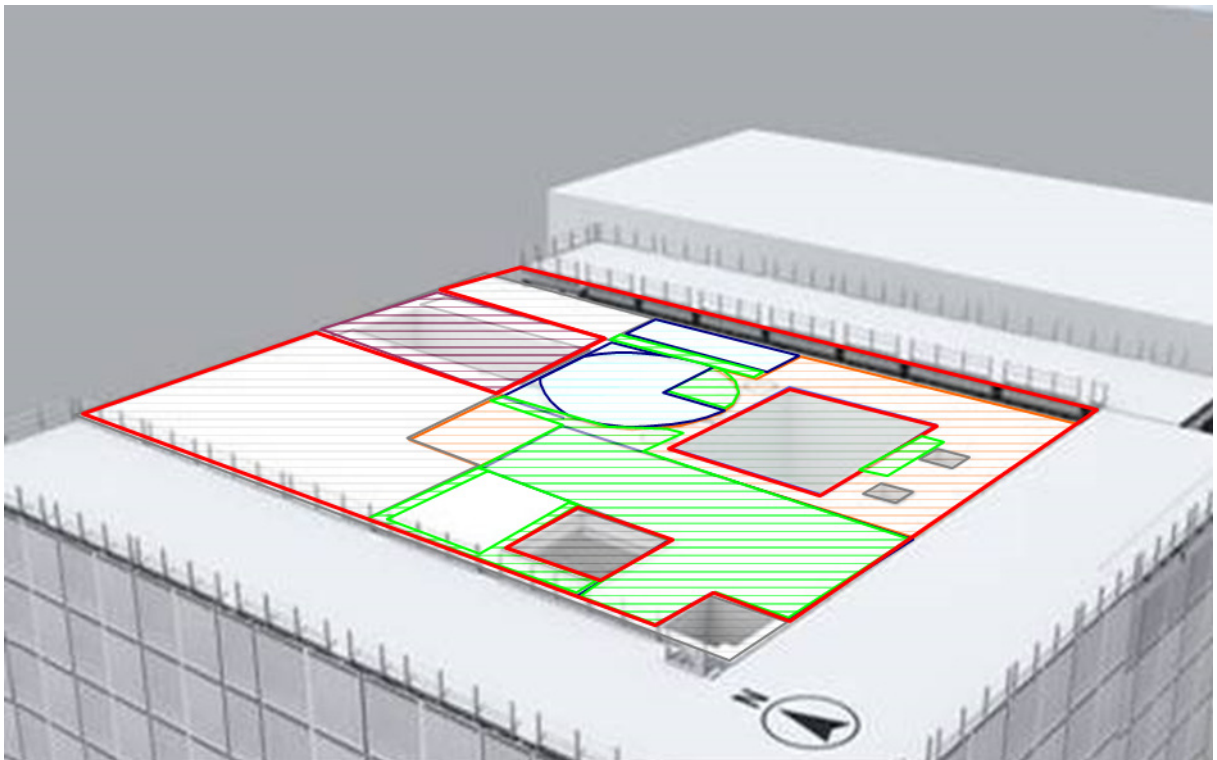
以 上

【3号機原子炉建屋上部除染・遮へい工事】

■ 8月27日（木）～9月30日（水）主な作業実績

- ・ SFP内瓦礫撤去
- ・ R/B上部除染(ガレキ集積、ガレキ吸引)
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 作業ヤード整備

□ 作業進捗イメージ図



【凡例】

- 除染対象外 ガレキ集積 ガレキ吸引 床表層切削 遮へい材設置
SFP内ガレキ撤去 追加飛散防止剤散布

※除染・遮へい対策手順：ガレキ集積→ガレキ吸引→床表層切削→遮へい材設置

■ 10月1日（木）～10月28日（水）主な作業予定

- ・ SFP内瓦礫撤去
- ・ R/B上部除染(ガレキ集積、ガレキ吸引)
- ・ 飛散防止剤散布
- ・ 作業ヤード整備

■ 備考

- ・ R/B：原子炉建屋
- ・ SFP：使用済燃料貯蔵プール
- ・ 飛散防止剤散布：当該月の作業進捗に合わせた追加散布（作業前、作業後）及び定期散布のエリアのみを記載

以 上

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) H23.3.11時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	52	514	0	566	0.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・H23.3.11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・H23.3.11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	546	4,223	230	4,999	21.3%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
キャスク仮保管設備	0	1,412	1,412	48.2%	2,930	キャスク基数28(容量:50基)
共用プール	24	6,702	6,726	98.9%	6,799	ラック取替工事実施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

